

自治体と連携した研修園の設置と 新規就農研修の取組について



J A えひめ南

J A えひめ南管内の農業

(営農センター)



「A えひめ南かんきつ産地の概要



宇和島地域（R5）

栽培面積	約 2,371ha
生産量	約60,925 t
生産額	約 118億円

愛媛県果樹栽培状況等表式調査



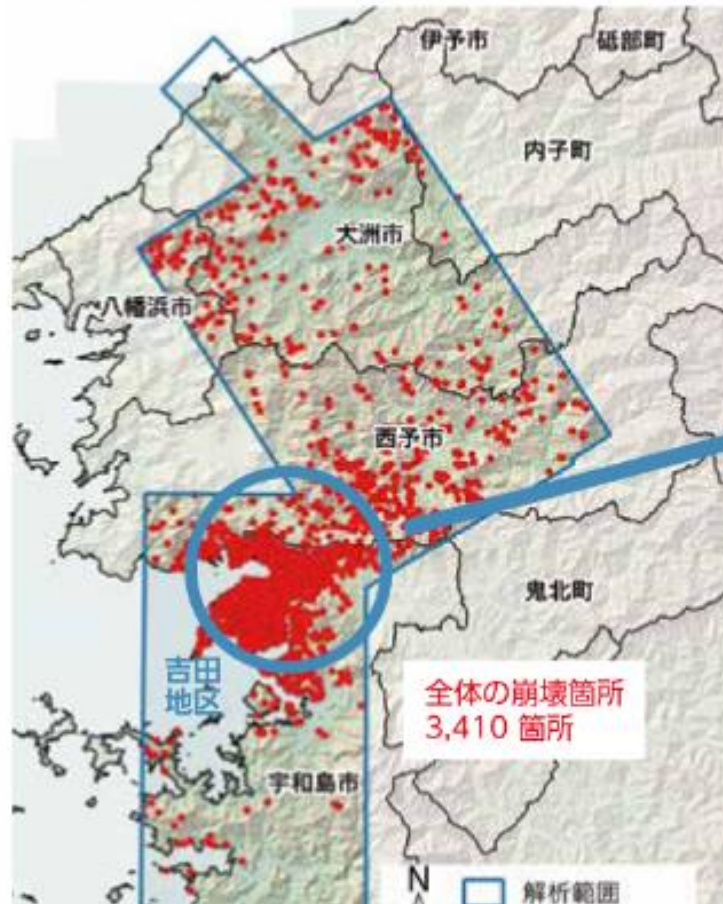
加賀山平次郎生誕地石碑



みかん研究所に植えられている原木の3代目

西日本豪雨災害 (平成30年7月)

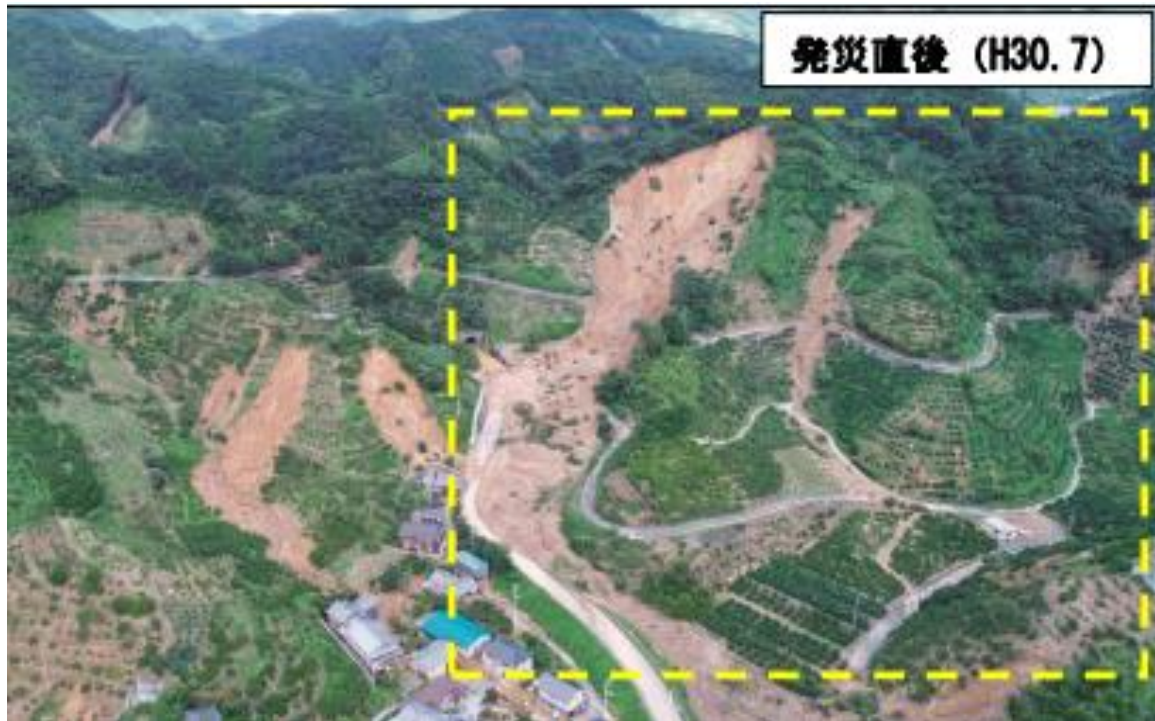
愛媛大学による斜面崩壊調査 (宇和島市周辺)



大規模な土砂災害が相次いだ (小名トンネル付近)

吉田町玉津 (白浦)

被災園地の復旧



再編復旧園地「白浦工区」
における植栽開始
(令和6年3月11日)



JA えひめ南における就農支援

JA 新規就農研修

(新たな担い手対策)

JA えひめ南みかん学校

(R6年度(5年募集開始)～)

- 宇和島市の担い手養成研修(かんきつ)
研修生:当面年5名×1～2年
- 実施主体<営農部>
担当:営農指導課長
研修担当:1名(駐在)、指導補助1名
- 研修内容(通年)
園地研修、農家への派遣研修、座学(講義)
就農相談 等

愛南ファーマーサポート

(R元年度～)

- 愛南町の担い手養成(かんきつ、野菜)
研修生:2名程度×2年
- 実施主体<南宇和営農センター>
担当:南宇和営農センター長
研修担当:1名、指導補助1名
- 研修内容(通年)
かんきつ園地等で実践研修、就農相談 等

鬼北町農業公社農業研修

- 担い手養成研修(野菜)
研修生:2名×1～2年
<野菜(イチゴほか)、ゆず等>
- 実施主体
鬼北町農業公社(鬼北町)
- 研修内容(通年)
圃場研修、座学(講義)就農相談 等

研修生の交流、講座・実習等の連携

松野町農林公社農業研修

- 担い手養成研修(野菜、落葉果樹)
研修生:2名×1～2年
<野菜(キュウリほか)、もも等>
- 実施主体
松野町農林公社(松野町)
- 研修内容(通年)
圃場研修、座学(講義)、就農相談 等

JAえひめ南みかん学校の取組み



< 目 的 >

かんきつ農業は地域の基幹産業であり、J A えひめ南の基幹農産物である。

宇和島市におけるかんきつ産地の担い手対策が、愛南や鬼北・松野に比べ遅れていた。



新たな魅力ある品種の栽培や高品質生産、価格が堅調に推移

西日本豪雨災害の影響等もあり、担い手の高齢化の進行や減少が急激に進み、遊休園地が増加。



県や市など関係機関と連携し将来を見据え多様な担い手を養成するみかん学校を開設

新たな担い手を確保育成することにより、かんきつ産地の維持・強化

< 取組みの経緯 >

< 令和3年度 >

- ・JAによる新たな担い手対策へ向けたJA作業部会の立ち上げ（8月）
- ・市や県地方局、みかん研究所、果樹同志会等を関係機関や農家を含めた第1回目の担い手対策検討会を開催（1月）

< 令和4年度 >

- ・関係機関との担い手対策検討会により、行政等と連携したJA独自の担い手対策を実施する「JAえひめ南みかん学校」の設立方針案（令和6年4月開校）を取りまとめ、1月のJA理事会へ報告。
- ・施設や機械、体制整備へ向けた取組みを進めるため、**国事業（サポート体制構築事業）や市事業（みかん学校整備事業）を要望するとともに、農林中金事業（ふるさと共創事業）助成を申請。**

< 令和5年度 >

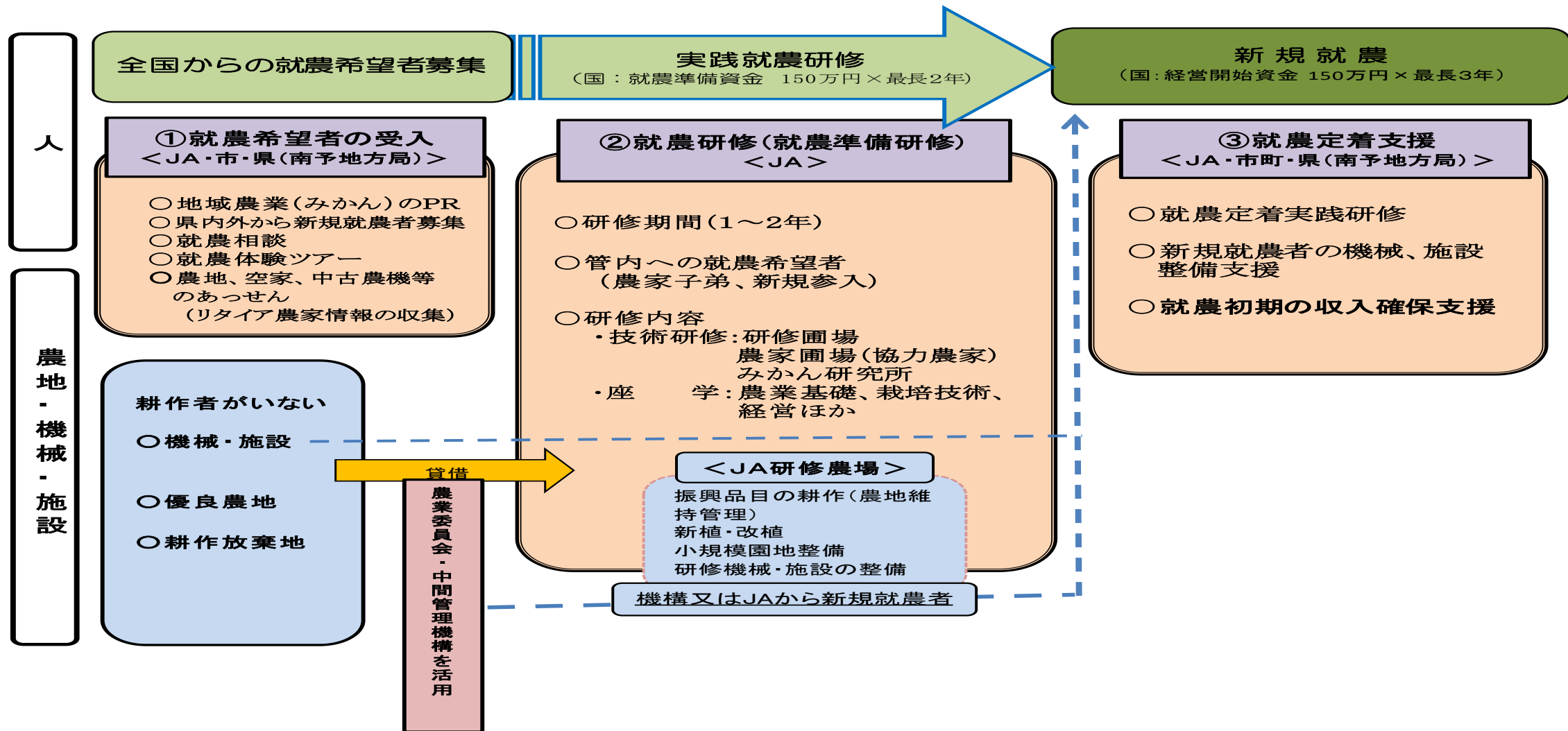
- ・研修園地(50a)の管理・研修生の募集を開始するとともに、各種補助事業等を活用し、研修拠点の改修や研修機具、教材等の整備など受入態勢を整備。研修生5名受入。
 - 国(県)事業：研修用農業機械の整備、就農相談活動の実施
 - 市事業：研修教材や産地紹介動画・パンフの作成、研修園地の整備（トイレ・苗木）
 - 農林中金助成：研修拠点施設の改修、研修用農業機械の整備など

< 令和6年度 >

- ・4月3日に開校

JA えひめ 南担い手養成研修

【みかん学校（宇和島市）】



1-(1) 就農研修生の受入れ体制の整備

就農相談体制の整備 (項目)	取 組 み 内 容	課 題
研修生の募集 就農相談	○JAかんきつ担い手対策協議会(年1~2回)、市農業支援センター会(年3~4回) →県(地方局)、市、JA等への就農相談情報の共有、相互対応 ○就農相談・募集活動(県地方局、市、JAが情報共有) ・地元農家や関係機関への周知(チラシ、パンフ等) ・県内外の就農フェア等への参加(R5:年4回)、JA・市ホームページ等を活用し、全国から広く意欲ある就農希望者を募集(R5:就農相談計30件、研修生計6人) ○農業体験(市体験ツアー等を活用) ○農業アルバイト(宿泊施設みなみ風 (市から委託を受けてJAが運営)、市体験住宅等を活用)	他産業も人材不足のため就農希望者が少なくなっている。
実践研修(みかん学校) ・カリキュラム作成 ・研修農場整備・運営	○研修カリキュラムの作成(週4日、年1,410時間、実習80%) ○研修内容の充実(研修教材の制作3種)、 県・市、全農等の関係機関や愛媛大学へ講師を依頼 ○研修農場の整備・運営(就農園地の確保(約2ha)、施設・機械等の整備) (県担い手総合支援事業を活用)	露地栽培のため雨天の研修(実習作業)に苦慮
農地のあっせん	○JAが、農業委員会等と連携し、後継者のいない農地等(一定の就農園地)を借り受け、研修後就農者へ転貸できる農地を確保(R6:5件:約1.9ha) ○市や農業委員会、地域農業者等と連携し研修期間中に遊休農地や離農・規模縮小希望農地情報を収集し、新規就農者へあっせん(R6:農地2件:約1.8ha)	優良な農地情報が少ない

1-(2)就農研修生の受入れ体制の整備

就農相談体制の整備 (項目)	取 組 み 内 容	課 題
農業機械施設 倉庫等のあっせん	○中古農機具等の情報整理・あっせん <市農業支援センターと連携> ○国等の事業を活用し新規就農に必要となる機械・施設、倉庫等の整備を支援 (県市担当者による国・県・市の就農支援制度の説明)	倉庫や施設の確保が難しい
住居のあっせん	○短期体験：市体験住宅やみなみ風等を活用 ○長期・定住：市空き家バンクを紹介	市空き家バンク充実
生活面のサポート	○生活費支援 ・就農準備資金(50歳未満の就農予定者) R6:3人、R7:4人(予定) ・営農インターン推進事業(50歳以上) R6:1人、R7:1人 ・休日等を利用した農業アルバイトの紹介(JAや農家) ○年2回研修生と個別面談 ○その他、実践研修で農家研修や地域行事等により就農予定地の円滑な人間関係の構築を支援	就農後の定期的な支援も重要 (県普及員や市町担当者等と連携)

(JAえひめ南宿泊施設「みなみかぜ」)

- 施設: JAえひめ南が宇和島市から施設の管理委託を受け、アルバイト等の宿泊施設として運営
- 部屋数: 宿泊定員20人(18部屋(個室:16室、2人室:2室))
- 所在地: 宇和島市吉田町立間尻



(宇和島市移住体験住宅)

利用期間	最低 7日 ~ 最長 92日
利用料 〈月額 15,000円〉	対象月内の利用日数に応じた賃料 ・ 1日以上 10日以内 5,000 円 ・ 11日以上 20日以内 10,000 円 ・ 21日以上 15,000 円 ※ 右記「利用例」をご参照ください。
水道光熱費 その他諸経費等	利用者負担 * その他諸費用・・・灯油代・汲み取り料等
設備	必要最小限の 家具・家電・寝具、Wi-Fi

利用例 ①

4/12~5/31 の 50日間 ご利用の場合

4月分 (19日間)	10,000 円
5月分 (月額)	15,000 円
利用料金計	25,000 円

利用例 ②

10/1~12/15 の 76日間 ご利用の場合

10月分 (月額)	15,000 円
11月分 (月額)	15,000 円
12月分 (15日間)	10,000 円
利用料金計	40,000 円

利用例 ③

2/25~3/16 の 20日間 ご利用の場合

2月分 (4日間)	5,000 円
3月分 (16日間)	10,000 円
利用料金計	15,000 円

No.1 蜜柑 (みかん)		No.2 温州 58号 [右戸] (うんしゅう 58)	
国道から数分走れば、蜜柑山に囲まれた緑豊かな穏やかな場所。		周りの山々には蜜柑畑、海も徒歩圏内にあります。物件は二戸あり左右対称の造りです。	
			
物件名：蜜柑 (みかん)	所在地：吉田町沖村	物件名：温州 58号 (右戸)	所在地：吉田町法華津
利用料：月額 15,000円	間取り：3DK	利用料：月額 15,000円	間取り：3DK
駐車場：あり	Wi-Fi：あり	駐車場：あり	Wi-Fi：あり

(宇和島市オーダーメイド型 移住体験ツアー)

宇和島市では、県外からの移住を検討されている方に、当市の魅力や暮らしを体験していただくオーダーメイド型の移住体験ツアーを実施しています。

こんな体験がしたい、こんな人から話を聞いてみたい等のご希望をお聞きして、移住後の生活がイメージしやすくなるよう、一組ずつ市内をアテンドします。

■ ツアーの一例

1日目	市内視察（教育・子育て施設、医療機関、スーパー等）
2日目	仕事見学、先輩移住者との交流
3日目	市・県からの支援制度説明、空き家バンク 物件見学

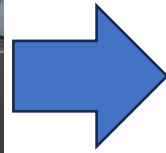


2 研修農場(みかん学校)の整備

(1) 拠点施設

宇和島市吉田町沖村

(旧 J A ガソリンスタンドを改修利用)



(2) 研修園地

- 令和5年に吉田町南君に約50aの園地（温州、甘夏、伊予柑等）を確保し
研修園地として整備（うち5a程度をR7年に改植（甘夏→ポンカン、紅牡丹、甘平など））
- また、6年に研修生の就農園地として3園地（約150a）を借入、さらに、7年には
離農希望農家から**2園地（約40a）**の借入を検討 * 優良園地の貸借ができないのが課題



(3) 主な研修機械・装備



- ・自走式チッパー1台(国補)
- ・動力噴霧器 2台
- ・気象ロボット 1基
- ・その他農業用機材・道具

- ・家庭用選果機1基(国補)
- ・クローラー 1台
- ・研修圃場トイレ 1基

- ・ラジコン草刈機1台(国補)
- ・E キャット 1台
- ・軽トラック 1台

(4) 研修制度

① 研修生募集

○募集期間：例年 7 月～12 月

○募集定員：当初 かんきつ 5名（地元出身者、新規参入者）
→ 目標10名

② 研修期間

1～2年（新規参入者は原則2年）

③ 研修内容（国の研修機関の認定基準を満たす）

○栽培実習（JA研修園地、協力農家）

○座学（栽培技術、経営、各種制度、就農計画の作成等）

○外部研修（優良農家や試験研究機関等）

(カリキュラムの概要)

○主な座学（約32日）

研 修 課 題	場 所	講 師	日数（日）
農作業安全	教室、現場	JA、県（普及指導員・農大職員）など	1.0
果樹栽培の基礎	教室・現場	県（普及指導員（果樹））	4.0
かんきつ栽培技術（植付、剪定、摘果、品種特性など）	教室・現場	JA（果樹指導員）、県（研究員）	5.0
かんきつの土壌管理（施肥体系）	教室・現場	基礎：JA全農、施肥：JA（果樹指導員）	2.0
かんきつの病虫害と対策（農薬の安全使用含む）	教室・現場	JA（果樹指導員）、県（防除所員）、メーカーなど	3.0
鳥獣被害と対策	教室、現場	県（普及指導員）、JA（学校指導員）	1.0
かんきつ経営・簿記	教室	JA（学校指導員）	5.0
農業経営に係る税金・保険制度	教室	JA（本所職員）、農業共済組合など	0.5
新規就農に係る各種制度・資金	教室	県、市、JAの担当職員	0.5
スマート農業	教室、現場	外部講師（大学、県研究員）など	1.0
GAP等の認証制度・環境保全型農業	教室、現場	県（普及指導員）、JA（学校指導員）	0.5
その他、先輩農業者との交流会など	教室、現場	農業者 （新規就農者、果樹同志会、農業指導士など）	8.5

○実習等（約158日）

※実習割合 約80%

研 修 課 題	場 所	講 師	日数(日)
かんきつ技術研修	JA園地	JA(学校指導員、果樹指導員)	135
かんきつ専門技術研修 (スマート農業・GAP等の認証制度など)	みかん研ほか	研究員・先進農家等	2
かんきつ現場研修	協力農家、共選	農業者など	12
先進地視察	県内外先進地	先進農家ほか	4
就農計画の策定	教室・現場	JAなど	3
地域行事への参画	現場	農業者など	2

(研修状況①)



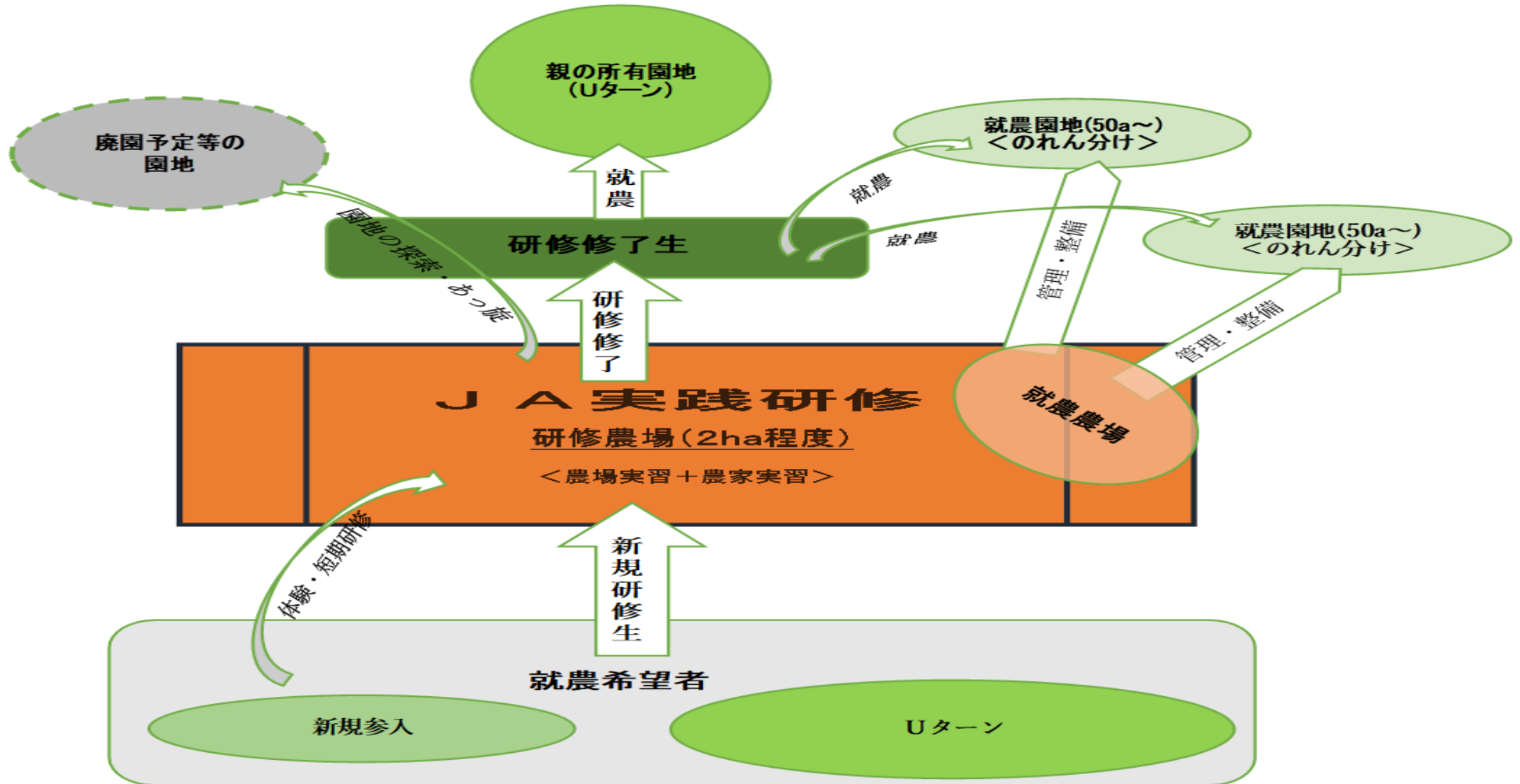
(研修状況②)



(5) 就農定着支援

- 就農農地・中古農業機械・施設・空き倉庫等の情報収集及び整備支援
- 住宅の紹介、あっせん
(市体験住宅やみなみ風、空き家バンク等を活用)
- 国の就農研修や経営開始支援制度の活用
(就農準備資金、経営開始資金等)
- 就農後、就農計画が実現できるよう農地、資金、技術等の相談指導

研修生の就農のイメージ



3 研修実績（みかん学校）

令和6年度 研修生5人(新規) → 就農(1年コース)4人

令和7年度 研修生5人(新規4人、継続1人)





ご清聴、ありがとうございました。